

松葉学園グループ

集合広報集落

松 葉 村

冬・雪・宇和高原

障害者支援施設 松葉学園グループ 松葉村

村長（総合施設長） 川中 和史

新年明けましておめでとうございます。平成28年が始まりました。宇和高原にしては、温い冬のような気がします。しかし、油断はできません。送迎車両も、すべてスタッドレスタイヤに履き替え、来たるべき冬将軍に準備万端です。昨年でしたか、八幡浜便が雪のため双岩（夫婦岩）付近で、立ち往生。学園から、救助隊を出動させ五時間かけて帰園しました。二度と同じ鉄は踏まないぞと、ベテランS職員を中心に今年は雪対策も万全です。

天気予報で、愛媛県の山沿いでは雪・・・と聞くたびに、どうせなら間違いなく宇和高原は雪です。と言ってもらったらありがたいのには思いませんか？なぜなら、海岸地域の利用者の方々に、「雪で、お迎えが・・・」と言うと、だいたい「こっちは、全然です。」の返答。標高200メートルを実感する瞬間です。

雪の降る少し前には、風が吹きます。その、風の音が止み静寂が訪れ、ほほに少し痛いくらいの冷たさを感じると、窓の外は・・・
遠くの山まで真っ白な世界に一瞬、深い息を吸い込みたくなるのは、きっと私だけではないように思います。どうか、冬将軍様お手柔らかに。